機器名	機器コード	情報番号	通し番号	訂正番号
AT-241RFA2-AL	5407284	13	01	1

適用機器名	適用機器コード
AT-241RFA-A2L	5403592
AT-241RFA2-AWL	5402286
AT-241RFA2-AW2L	5400353
AT-241RFA4-AL	5408288
AT-241RFA4-AWL	5404290

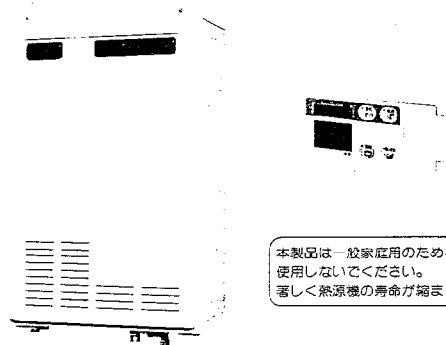
適用機器名	適用機器コード
AT-241RFA4-AW2L	5405355

保証書付

取扱説明書

PL法対応

品名	機器コード	型式名	設置方式
AT-361RFA-AL	540 0584	AT-361RFA-AL	屋外用
AT-361RFA-AWL(2温度型)	540 5586	AT-361RFA-AWL	
AT-361FFA-AL	540 5261	AT-361FFA-AL	屋内用
AT-361FFA-AWL(2温度型)	540 3262	AT-361FFA-AWL	
AT-241RFA-AL	540 6265	AT-241RFA-AL	屋外用
AT-241RFA-AWL(2温度型)	540 4266	AT-241RFA-AWL	
AT-241FFA-AL	540 8269	AT-241FFA-AL	屋内用
AT-241FFA-AWL(2温度型)	540 6270	AT-241FFA-AWL	

ガス給湯暖房機

本製品は一般家庭用のため、業務用には使用しないでください。
著しく熱源機の寿命が縮まります。

このたびはガス給湯暖房機をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

●ガス給湯暖房機の機能を、十分生かしていただくために、必ずご使用の前に取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

●この取扱説明書の33ページが保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保存してください。

また、別冊の「安全上のご注意」もお読みいただき、大切に保存してください。

TOKYO GAS

もくじ

特長・機能の紹介

●給湯の立ち上がりがすばやく安定出湯

お湯はり時間もスピーディー！
マイコンによる電子コントロール・水量比例制御機構で、すぐに希望の湯温になりしかも安定した湯温が得られます。

●温度調節はワンタッチ

湯かげん調節はワンタッチ！
希望の設定温度が得られる電子コントロール式です。
(※設定温度は約38℃～約47℃,約60℃)

●ふたをしたままお湯はり・保温・足し湯の全自動！

●給湯・暖房・風呂が同時で使える2缶3水路方式

●暖房水の自動補給機能付

暖房水が蒸発などにより少なくなりますと、自動的に補給され手間いらず。

●快適暖房

暖房は温水利用で、お部屋の空気を汚しません。
2温度型は、高温(80℃)と低温(60℃)の温水供給ができ、ソフト床暖房など幅広くご利用できます。

安全に正しくお使いいただくためにこの項は必ずお読みください。

●使用ガス・使用電源についてのご注意

●ガスの種類を確かめてください。
正面右下部に貼ってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

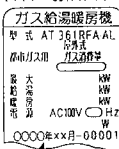
〔例：AT－361RFA－AL〕

ガス給湯暖房機
型式 AT 361RFA AL
都市ガス用 屋外式 ガス消費量
最大 kW
給湯 kW
暖房 kW
電源 AC100V ◯ Hz W
○○○○年××月－00001

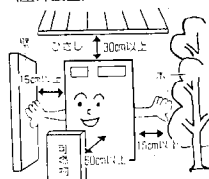
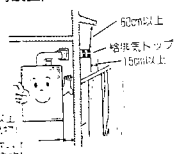
製造年月（例.○年×月製）を示します。

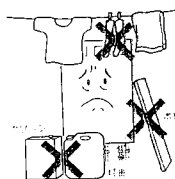
●ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。

●電源の電圧と周波数を確かめてください。
銘板に表示してある電源(電圧・周波数)とお宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

●転宅されたときにも、ガスと電源を必ず確かめてください。

●火災予防のために

■壁や可燃物から十分離れている場所で！

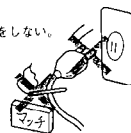
〈屋外設置〉

〈屋内設置〉

■機器の近くに燃えやすいものを置かない！

機器コード							情報番号		通し番号		訂正番号
5	4	0	7	2	8	4	1	3	0	2	1

●ガス事故防止のために

■燃焼状態の確認

点火、消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを、メーンリモコンまたは風呂リモコンの燃焼表示で確認してください。

■万一ガスが漏れたときは

すべての処置がおわるまでの間、
●火をつけない。
●電気器具のスイッチの"入・切"をしない。
●電源プラグの抜き差しをしない。

■ガス漏れに気づいたとき

すぐに使用をやめ、給水元栓とガス元栓を閉じ、お買い上げの販売店、またはお近くの東京ガスに連絡してください。

●使用上の注意

■給湯は

台所・シャワー・洗面等給湯以外には使用しないでください。

■市販の補助用具は

この機器の付属品・補助用具以外は使用しないでください。

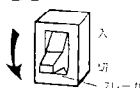
■火傷にご注意

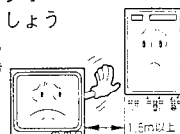
使用中や消火直後は、排気口が高温のため絶対に手を触れないでください。

■健浴剤・洗剤について

硫黄・酸・アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となりますので、健浴剤等の注意文を十分ご参照ください。

■はげしい雷のときは

使用を中止し分電盤のブレーカを切ってください。

■テレビやラジオとは離しましょう

電波の乱れによる映像の乱れや雑音の防止のため。

■飲用にお使いのとき

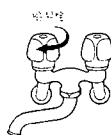
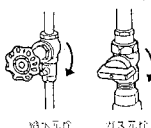
器内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

●凍結にご注意

冬期は暖かい地方でも急な寒波のため、機器内の水が凍り機器が破損することがあります。（P21参照）

●異常時の処置は

異常燃焼、臭気、異常音などを感じたときや、地震、火災のときは、あわてず次の処置をし、お買い上げの販売店またはお近くの東京ガスに連絡してください。

1 給湯栓を閉める

2 給水元栓とガス元栓を閉める

3 お買い上げの販売店または東京ガスへ

●停電がおこったら

- 停電の時は給湯栓を閉めてください。
- 再通電時は時刻表示が「0　00」になります。（別売品のメーンリモコンを取り付けた場合）
  現在時刻設定・ふろ予約時刻設定・給湯温度設定・ふろ温度設定を行なってからお使いください。

各部の名前と扱いかた

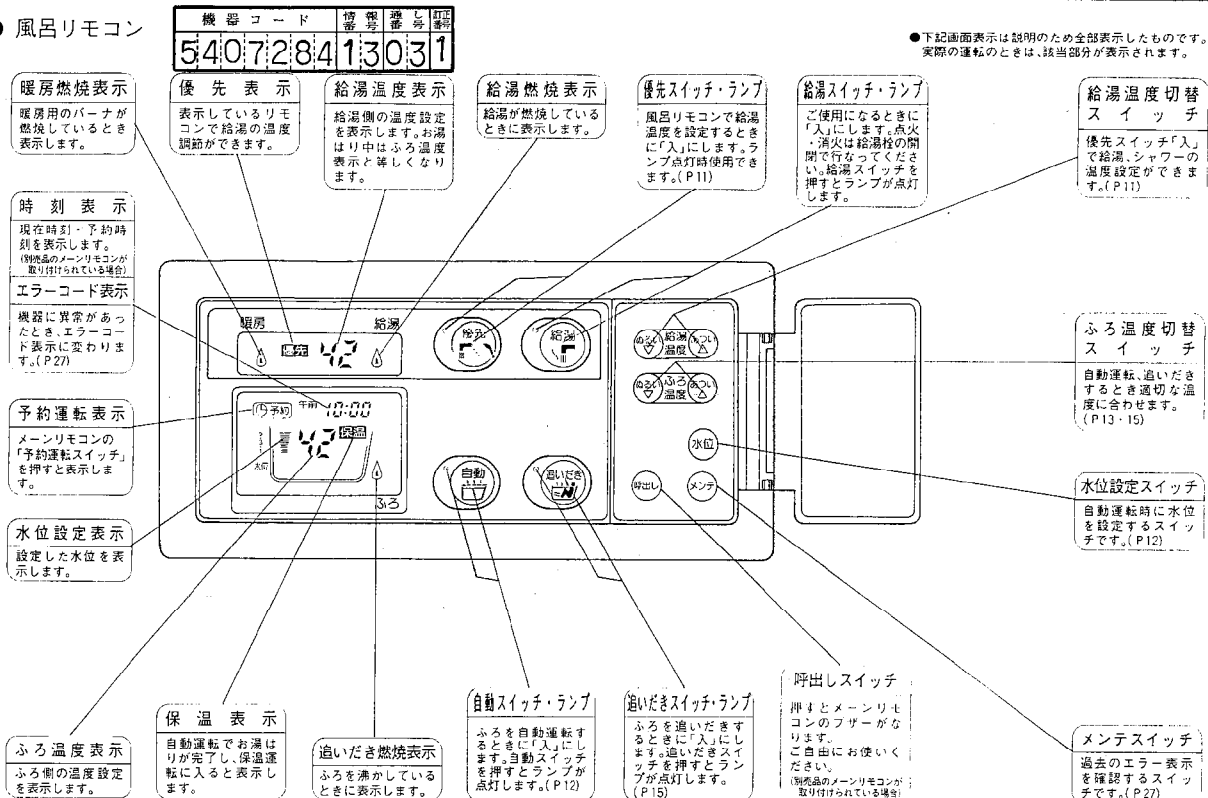
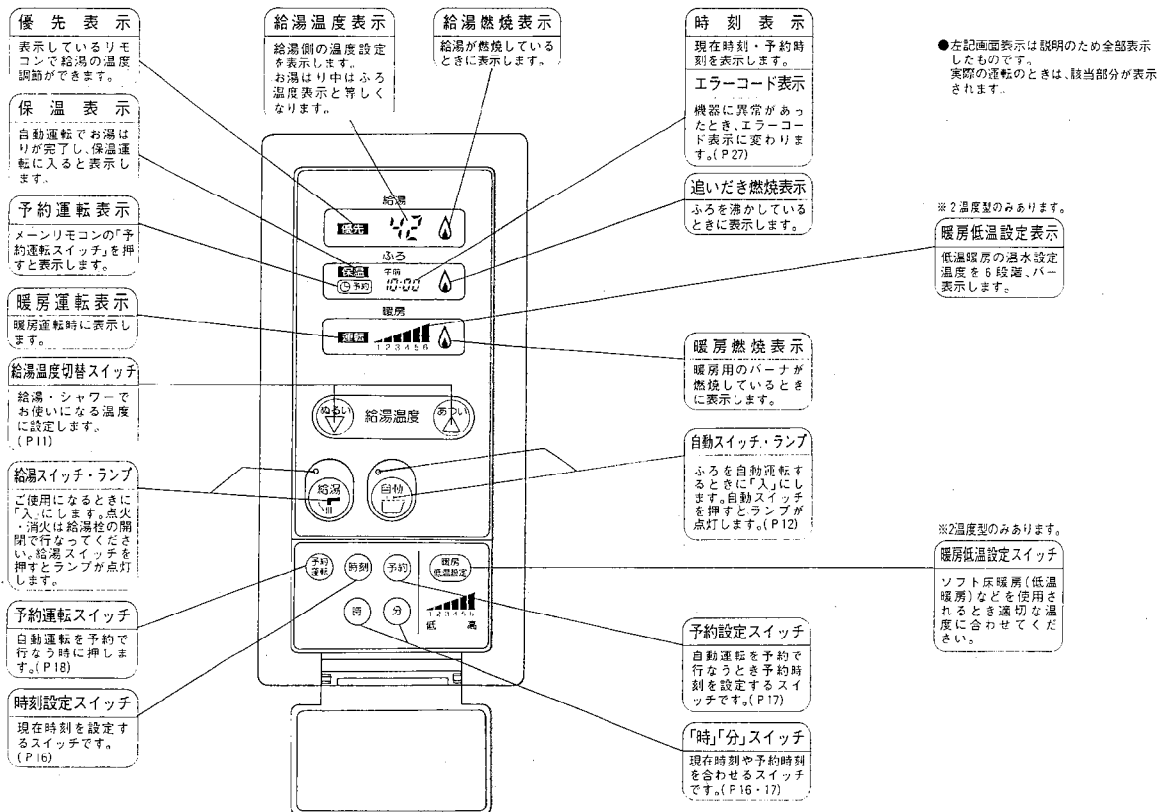
● 風呂リモコン

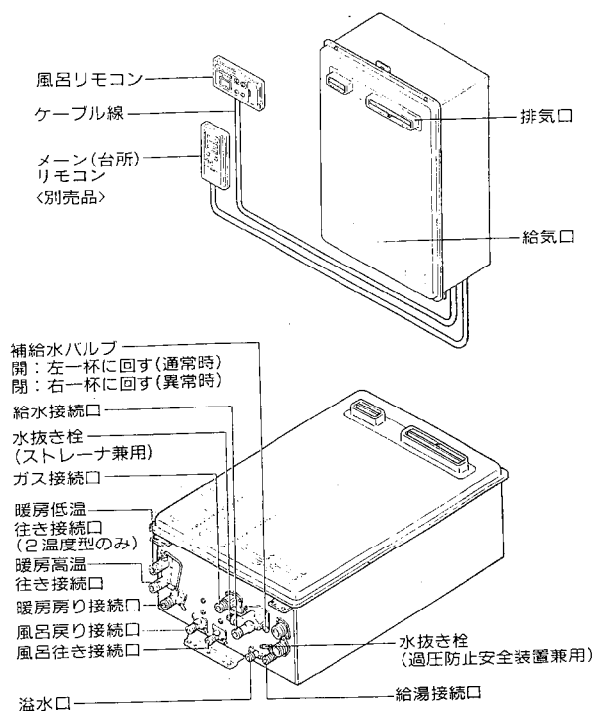
機器コード	情報番号	適し番号	訂正番号
54072841	3	03	1

●下記画面表示は説明のため全部表示したものです。実際の運転のときは、該当部分が表示されます。

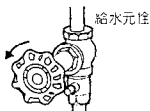
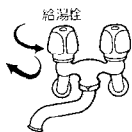
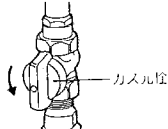
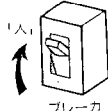
各部の名前と扱いかた

● メーン(台所)リモコン 〈別売品〉

●左記画面表示は説明のため全部表示したものです。実際の運転のときは、該当部分が表示されます。

機器コード	情報番号	通し番号	訂正番号
5407284	13	04	1

● 外観・構造

初めてお使いいただくときに

●ご使用前の準備と確認

1 給水元栓を全開にする

2 給湯栓を開け、水の出ることを確認し閉める

3 ガス元栓を全開にする

4 機器用のブレーカを「入」にする

自動スイッチを押し、

5 ポンプへ呼び水をする

この機器はポンプへ呼び水を自動的に行ないます。

初めてお使いになるときおよび、凍結予防のため水抜きを行なった後は必ず、浴そうに水・湯がない状態で自動運転（12ページ参照）を行なってください。

6 時刻設定をする（別売品のメーンリモコンが付いている場合）

P16に従って時刻を合わせます。

使用方法 給湯のしかた

1 給湯スイッチを押す

風呂リモコン・メーンリモコンのどちらかの給湯スイッチを押す。
最初に押されたリモコンに **優先** が表示されます。

- ●はじめてお使いになるときは、給湯・ふろ温度は「42」を表示します。
- ●給湯温度は、前回設定の温度を表示します。

給湯温度切替スイッチを押して

2 温度を調節する

- 必ず **優先** 表示を確認してから温度の調節をします。優先表示がされてないリモコンでは温度調節はできません。

〈メーンリモコンで調節する場合〉

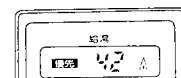
- お好みの温度に調節します。
メーンリモコンの **優先** 表示が消えている時は風呂リモコンの優先スイッチを押します。

〈風呂リモコンで調節する場合〉

- お好みの温度に調節します。
風呂リモコンの **優先** 表示が消えているときは風呂リモコンの優先スイッチを押します。

- 温度切替は約38℃～約47℃の間及び約60℃で調節できます。
- 給湯温度切替スイッチを押しつづけると、連続的に変わります。

3 給湯栓を開ける

- 給湯側の「♨」が表示し、お湯が出ます。
- エラーコード表示「111」が表示している場合は、一度給湯栓を閉め、しばらく待った後、開栓します。

4 給湯栓を閉める

- バーナが消火し、給湯側の「♨」が消えます。

燃焼用送風機は、バーナ消火後約5分で停止します。

ご注意

- 自動お湯はり運転中に給湯を使用すると、湯度は自動お湯はりで設定した温度になります。また水圧が低いときなどは、出湯量が少なくなる場合があります。
- 停電または、電源プラグを抜き差ししたあとに運転スイッチを入れると温度設定は「42」になります。
- シャワーを使用するときは、いきなり体や頭にはかけずに、手で湯温を確かめてからお使いください。
- 夏期など水温が高く、「給湯温度切替スイッチ」を「38」～「43」にセットしても熱い場合、湯量を多く出してお使いください。
- 給湯栓を絞りすぎた場合(約2ℓ／分以下)、バーナの火は消えるようになっています。

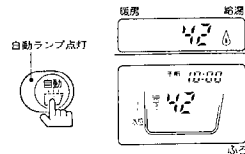
- 自動運転の機能・原理は14ページを参照してください。
- 浴そうの排水栓を閉じてください。
- 浴そうにフタをしてください。

機器コード							情報番号		通し番号		訂正番号
5	4	0	7	2	8	4	1	3	0	5	1

点　火

1 自動スイッチを押す

- 自動ランプが点灯し、自動運転に入ります。
- エラーコード表示「111」が表示する場合、自動スイッチを「切」にし、再度「入」にします。

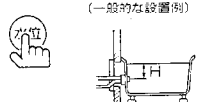
ご注意
- 給湯使用中に、「自動スイッチ」を「入」にしたとき自動運転にならない場合があります。
  この場合給湯栓を閉めますと、自動運転を開始します。
- 自動運転中に、「()」が表示したり消えたりしますが異常ではありません。

風呂リモコンで

2 お湯はり水位を設定する

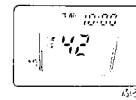
- 水位設定スイッチを押し、適切な湯量になる数字にバー表示を合わせます。
  バー表示は水位設定スイッチを押すと上がっていき、5までくると下がっていきます。
- 右表の数字で一度運転し、水位が高いときは小さな数字に、水位が低いときは大きな数字に合わせて、翌日試してください。

水位設定目盛	H寸法(cm)目安
5	約40
.	約33
3	約27
.	約20
1	約14

ご注意
- 洋風バスなどの浅い浴そうの場合、水位設定を高めにすると、お湯があふれることがあります。
- 浴そうの形状や施工状態によりお湯はり水位は多少変化します。

(一般的な設置例)

風呂リモコンで

3 ふろ温度を設定する

- 適切な温度に合わせます。
  約35℃～約50℃の間で調節できます。

消　火

設定した水位・温度になると自動的に消火し、ブザーでお知らせします。
(自動運転でお湯はりが完了すると「保温」が表示され、4時間、保温・たし湯運転を続けます。)
途中で消火したい場合または自動運転を止める場合は次の操作をします。

4 自動スイッチを押す

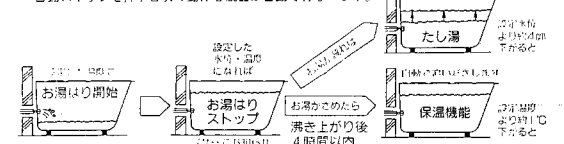
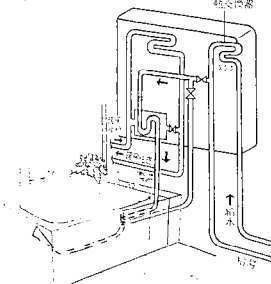
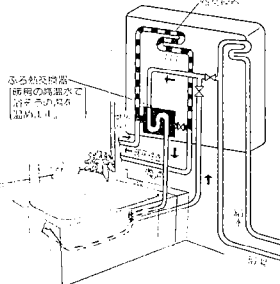
「保温」表示が消え、自動ランプも消えます。

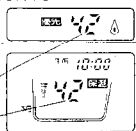
ご注意
- 自動運転中は給湯温度の表示が、ふろ温度の表示と等しくなることがありますが異常ではありません。
  またこの時、給湯を使用しますと、ふろ温度表示の湯温になります。
- 自動運転中に給湯同時使用の場合は、お湯はり時間が長くなることがあります。
- お湯はり中(優先表示消灯中)は、給湯温度の調節はできません。
  (給湯温度を調節する場合は、一旦自動スイッチを「切」にしてください。)
- 入浴時には必ず浴そうの湯をかきまぜて湯温を確かめてください。
- 停電時や電源プラグを抜かれたときは、浴そうに水、湯がない状態で自動運転から行なってください。
  (正確な水位にするため。)
- 自動運転中や給湯使用中、エアーを吸い込む音がしますが異常ではありません。
- 自動運転中や追いだき時、浴そうの風呂アダプターよりエアーが出ることがありますが異常ではありません。

■浴そうに残り湯がある場合
前日までの残り湯を沸かし直したいときは、「自動運転」とまったく同じ手順で行ないます。
設定水位より湯量が減っている場合は、設定した水位までたし湯したうえで設定温度に沸かし上げます。

知っておきたいこと

自動運転とは

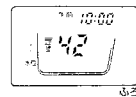
自動スイッチを押すと次の動作を機器が自動で行ないます。

自動運転の原理
<お湯はり(たし湯)の場合>
<追いだき(保温)の場合>

給水された水が「給湯熱交換器」を通り湯となって浴そうへお湯はりします。

浴そうからの戻り湯が「ふろ熱交換器」を通り、再び浴そうへ高温の湯を循環させます

- お湯はり時は、「給湯熱交換器」が働くため、リモコンの「給湯温度」は「ふろ温度」に等しくなります。

保温・たし湯運転中は
- ふろ温度の検知は30分毎に自動的にポンプで循環して行ないます。
- 自動運転は、設定した水位・温度に沸き上がってから4時間後に、自動的に停止します。
  (保温表示が消えます。)

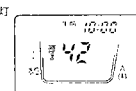
入浴時など湯がぬるくなったときの追いだきに使用します。
- 浴そうの風呂アダプターより10cm以上水が入っていることを確認してから操作してください。
- 追いだきで使用の場合、設定したふろ温度より約2℃高い温度まで沸き上がると自動的に停止します。

風呂リモコンで

1 ふろ温度を設定する

約35℃～約50℃の間で調節できます。

点　火

2 追いだきスイッチを押す

追いだきランプが点灯し、ふろ側の「()」が表示し追いだきをはじめます。

- エラーコード表示「113」が表示する場合追いだきスイッチを「切」にし、再度「入」にします。
- 浴そうの風呂アダプターより最初の数秒間エアーが出ることがありますが、異常ではありません。

消　火

途中で消火したい場合

3 追いだきスイッチを押す

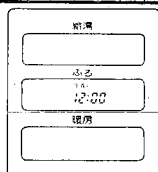
追いだきランプが消灯し、ふろ側の「()」表示が消えます。

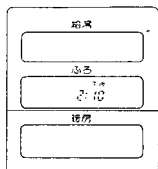
使用方法 現在時刻の合わせかた（別売品のメーンリモコンが付いている場合）

- メーンリモコンの操作カバーを開けて行なってください。
- 電源が「入」の状態で「0 00」が点滅します。
- 停電後の再通電後も「0 00」が点滅します。
- 各スイッチの「入」「切」に関係なくセットできます。

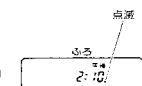
機器コード							情報番号		通し番号		訂正番号
5	4	0	7	2	8	4	1	3	0	6	1

1 時刻スイッチを押す

「午前　12:00」が点滅します。

2 現在時刻を合わす

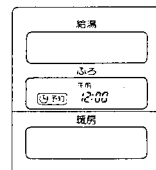
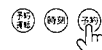
（例：現在時刻が、午後2時10分の場合）
「時」スイッチを押して「午後　2:00」にします。次に「分」スイッチを押して「午後　2:10」にします。

- 「時」、「分」スイッチは、一度押すと各々1時間、1分ずつ変わります。押し続けると連続して表示が変わります。

3 時刻スイッチを押す

- 時刻表示が点滅から点灯に変わり、時計が動きはじめます。
- 時刻表示の右下の「・」が点滅します。

使用方法 予約時刻の合わせかた（別売品のメーンリモコンが付いている場合）

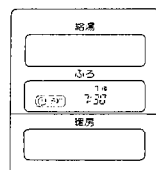
- ふろ予約時刻とは「お湯はり」または「沸き上げ」がほぼ完了する時刻をいいます。
- メーンリモコンの操作カバーを開けて行なってください。
- 各スイッチの「入」「切」に関係なくセットできます。
- 現在時刻を合わせていないと、予約時刻はセットできません。

1 予約スイッチを押す

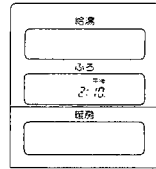
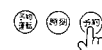
「午前　12:00」と「予約」が点滅します。

- 予約時刻をそのまま（約15秒以上）にしておきますと予約はセットされ自動的に現在時刻に戻ります。

2 予約時刻を合わす

（例：予約時刻が、午後7時30分の場合）

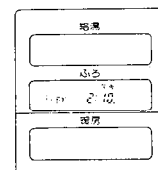
「時」スイッチを押して「午後　7:00」にします。次に「分」スイッチを押して「午後　7:30」にします。

- 「時」、「分」スイッチは、一度押すと各々1時間、1分ずつ変わります。押し続けると連続して表示が変わります。

3 予約スイッチを押す

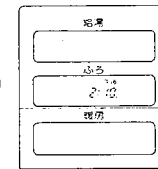
- 現在時刻に変わると同時に予約がセットされます。

使用方法 予約運転のしかた（別売品のメーンリモコンが付いている場合）

予約前に次のことを確認してください。
- 浴そうの排水栓を閉じてください。
- 浴そうにふたをしてください。
- 現在時刻を合わせてありますか。
- 予約時刻を合わせてありますか。

1 予約運転スイッチを押す

- 「予約」表示します。
- 予約時刻近くになると運転を始めます。

- 予約運転スイッチを押すと、予約時刻に「お湯はり」または「沸き上げ」がほぼ完了し、予約時刻までは保温を行ないます。
- 途中で取り消す場合、次の操作をしてください。

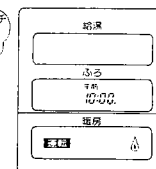
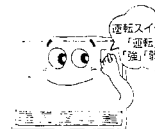
2 予約運転スイッチを押す

- 「予約」が消えます。

予約運転とは
- 予約時刻に「お湯はり」または「沸き上げ」がほぼ完了することをいいます。
- 予約時刻になると、ブザーでお知らせします。
- 予約運転設定中(機器が動きだすまでの間)は「自動」スイッチ、「追いだき」スイッチを押してもスイッチは入りません。
- 予約運転中でも「給湯」は使用できます。
  このような場合、「お湯はり」または「沸き上げ」時刻が遅くなる場合があります。
- 予約時刻を忘れた場合は、予約スイッチを押すと確認できます。

使用方法 暖房のしかた

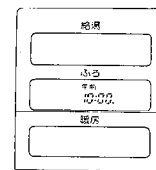
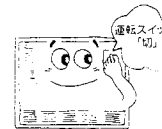
運　転　●放熱器およびシステムコントローラの操作は、それぞれの説明書に従ってください。

※メーンリモコンは別売品です。

1 放熱器の運転スイッチを入れる

メーンリモコンの「運転」と「♨」が表示され暖房運転をはじめます。

- メーンリモコンのエラーコード表示「113」が表示している場合、すべての放熱器を「切」にし、しばらく待ってから放熱器を「入」にしてください。

停　止

2 放熱器の運転スイッチを切る

運転スイッチはゆっくりと操作してください。
急に「切」にすると「コトン」という音がすることがあります。

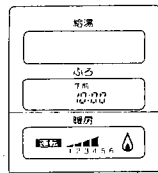
メーンリモコンの「運転」と「♨」が消えます。

使用方法 暖房のしかた（低温暖房：2温度型のみ）

運　転

●放熱器およびシステムコントローラの操作は、それぞれの説明書に従ってください。

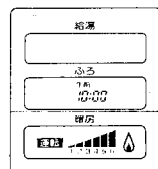
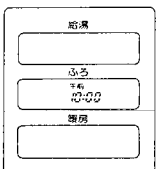
※メーンリモコンは別売品です。

1 システムコントローラの運転スイッチを入れる

・メーンリモコンのエラーコード表示「113」が表示している場合、システムコントローラの運転スイッチを「切」にし、しばらく待ってから「入」にしてください。

メーンリモコンの「運転」と「バー表示」と「💧」が表示され暖房運転をはじめます。

2 メーンリモコンで暖房低温温度を設定する

・暖房低温設定スイッチを押し、適切な温度になる数字にバー表示を合わせます。
バー表示は暖房低温設定スイッチを押すと上がっていき、6までくると下がっていきます。
・床暖の温水温度は約45℃～約70℃の間で設定できます。

バー表示	温水設定温度
1	約45℃
2	約50℃
3	約55℃
4	約60℃
5	約65℃
6	約70℃

停　止

3 システムコントローラの運転スイッチを切る

メーンリモコンの「運転」と「バー表示」と「💧」が消えます。

機器コード							情報番号		通し番号		訂正番号
5	4	0	7	2	8	4	1	3	0	7	1

凍結予防のしかた（暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください。）

●凍結すると機器が故障したり配管が破損する恐れがあります。（有償）
●外気温が0℃近くになると凍結予防ヒータや暖房燃焼運転が作動して凍結予防を行います。絶対に分電盤のブレーカを切らないでください。

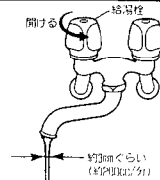
給湯・ふろ

外気温が極端に低くなりますと、凍結予防ヒータだけでは不十分です。
このような場合は、次の方法を行なってください。

方法 1. 給湯栓から水を流す

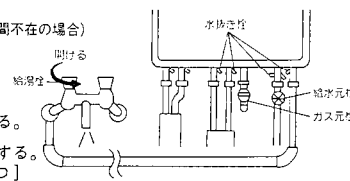
1 メーンリモコンの給湯スイッチ及び、風呂リモコンの給湯スイッチを切る。

2 給湯栓を開ける。

開ける　給湯栓　約3mmぐらい（約200cc/分）

方法 2. 水抜きをする

（長期間不在の場合、または非常に冷えこみの厳しいとき。）

1 浴そうの水を排水する。
2 ガス元栓を閉める。（長期間不在の場合）
3 給水元栓を閉める。
4 給湯栓を開ける。
5 シャワーを床面まで下げる。
6 自動スイッチを「入」にする。
［そのままで約30秒間待つ］
7 追いだきスイッチを「入」にする。
［浴そうの風呂アダプターより水が出ることを確認する。］
8 水抜き栓を開ける。（4箇所）
［そのままで約2分間待つ］

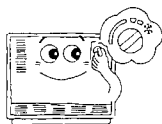
水抜き栓　開ける　給湯栓　給水元栓　ガス元栓

凍結予防のしかた

水抜き後の使用方法

①水抜き栓を閉める。（4ヵ所）
※補給水バルブは閉めないでください。
②給水元栓を開ける。
③給湯栓から水が出ることを確認し、給湯栓を閉める。
④ガス元栓を開ける。
⑤11ページの「使用方法」に従ってお使いください。

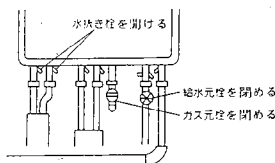
凍結して水が出ないとき

メーンリモコンの給湯スイッチ及び風呂リモコンの給湯スイッチを「切」にし給湯栓を開け、水が出るまで待ってからお使いください。

暖房

●冬期、外気温が0℃近くになりますと、自動的に循環ポンプ等が作動して凍結を予防します。
●寒い時には、次の操作をお願いします。
すべての放熱器の運転スイッチを「❄」にする。

（水抜きをする）（旅行など長期不在のとき）

〔不凍液が入っている場合〕→水抜きの必要はありません。
※不凍液注入の有無は、フロントカバーのラベル表示で識別できます。
〔不凍液が入っていない場合〕→水抜きをしてください。
※1. 暖房側の水抜きをする場合は機器の電源を「切」にしますので、給湯・ふろ側も必ず水抜きをしてください。
※2. この方法では放熱器や接続配管の凍結予防はできませんので、放熱器などの説明書をよくお読みになり凍結予防を行なってください。また、接続配管の保温工事も行なってください。

水抜き栓を開ける　給水元栓を閉める　ガス元栓を閉める

凍結したとき

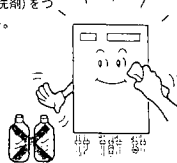
●凍結した場合、ガス元栓・給水元栓を閉めてください。凍結したまま使われますと、機器に異常が生じる場合があります。
●凍結が解けたあと、水漏れがないのを確認のうえご使用ください。
●機器や配管が破損しますと、高額の修理費用がかかる場合があります。（有料）

点検・お手入れ

「点検・お手入れ」は必ず給水元栓とガス元栓を閉め、機器が冷えてから行なってください。

●お手入れの方法

■ 本体が汚れたときは？

布または、スポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけて、ふき取る。

■ リモコンが汚れたときは？

水をつけた布をかたく絞り、軽くふき取る。
（内部は、電気部品が入っているので絶対にぬらさない。）

■ 浴そうフィルタの掃除をしてください。

①浴そうフィルタにはゴミや湯あか等が付着し、そのままにしておくと目詰まりを起こし機器の異常の原因になります。

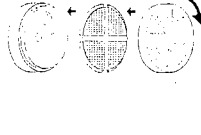
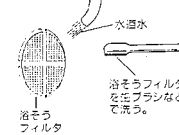
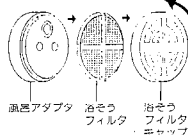
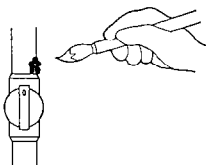
②浴そうフィルタの掃除はつぎの要領で定期的に行なってください。

1 浴そうフィルタを取り外す。

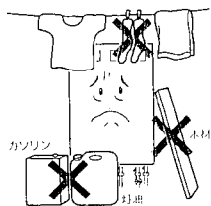
2 掃除をする。

3 もとのように取り付ける。

●点検の方法

機器コード	情報番号	通し番号	訂正番号
5407284	13	08	1

■本体・配管からの水漏れ・ガス漏れは？
ガス漏れは、配管接続部に石けん水などをつけて調べる。

■機器の周囲は？
燃えやすいものを置いていませんか。

■機器の異常音は？

■外観に異常は見られませんか？

定期点検のおすすめ

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年１回程度の定期点検をおすすめします。
お買い上げの販売店またはお近くの東京ガスにご相談ください。
●機器が古くなると熱交換器やバーナにサビやスス、ほこり等がつまったりします。また取り付け場所によりバーナに「くも」が巣をはることがあります。このような場合不完全燃焼を起こすことがあり、ときどきご使用中に異常(異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等)がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガスの元栓を閉めてお買い上げの販売店またはお近くの東京ガスにご連絡ください。
1　停電・断水・ガスの供給が停止した時

	停　電	断　水	ガスの供給停止
給湯・シャワー	〈停電時〉 ・運転は停止しますが、水は出続けます。 ・給湯栓を閉じてください。 〈通電後〉 ・使用方法(11ページ参照)によりご使用ください。	〈断水時〉 ・運転は停止します。 ・給湯栓を閉じてください。 ・給湯スイッチを、「切」にしてください。 〈再通水後〉 ・使用方法(11ページ参照)によりご使用ください。	〈供給停止〉 ・運転は停止しますが、水は出続けます。 ・給湯栓を閉じてください。 ・給湯スイッチを、「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ・使用方法(11ページ参照)によりご使用ください。
ふろ 自動運転	〈停電時〉 ・運転は、停止します。 〈通電後〉 ・使用方法(12～14ページ参照)によりご使用ください。 ・そのままご使用になりますと浴そうのお湯が設定水位にならない場合がありますので、一旦全部排水し再操作してください。	〈断水時〉 ・運転は、停止します。 ・自動スイッチを「切」にしてください。 ・エラーコード412が点滅します。 その場合は、再通水後27ページに従ってください。	〈供給停止〉 ・運転は、停止します。 ・自動スイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ・使用方法(12～14ページ参照)によりご使用ください。
ふろ 追いだき	〈停電時〉 ・運転は、停止します。 〈通電後〉 ・使用方法(15ページ参照)によりご使用ください。	〈断水時〉 ・通常は、正常運転します。	〈供給停止〉 ・運転は、停止します。 ・追いだきスイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ・使用方法(15ページ参照)によりご使用ください。
暖房	〈停電時〉 ・運転は、停止します。 ・すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。 〈通電後〉 ・使用方法(19ページ参照)によりご使用ください。	〈断水時〉 ・通常は、正常運転します。 ・エラーコード543が点滅し、運転が停止する場合があります。その場合は、お近くの東京ガスに連絡してください。	〈供給停止〉 ・運転は、停止します。 ・すべての放熱器の運転スイッチ、暖房スイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ・使用方法(19ページ参照)によりご使用ください。

2　次のような場合は故障ではありません。

現　象	説　明
寒い日に排気口から湯気がでる。	排気ガスの水分が水蒸気に変わるためであり異常ではありません。
給湯停止後もファンの回転音がする。	再使用時の点火をより早くするため約5分間は回転しています。
給湯栓を絞るとお湯が白くなる。	水の中の空気が分離して気ほうとなるためです。
長時間給湯を使っていると火が消える。	給湯を90分間連続して使うと自動的に火が消えるようになっています。
給湯栓を急に止めるとゴツンと音がすることがある。	給水パイプに逆止弁を取り付けると、音がする場合がありますが、水が急に止まるために発生する音で異常ではありません。

3　故障・異常の見分け方・処置方法

ご使用中に、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止され、十分な点検をしてください。

現象 ／ 原因（●＝主原因、・＝原因）	給湯栓を開けても湯が出ない	使用中に水になる	高温の湯が出ない	使用中に湯温が極端に変動する	自動運転・追いだきができない	「💧」表示が点灯しない	暖房がきかない、またはききがおそい	処置方法
ブレーカが「入」になっていない	●				●		●	ブレーカを「入」にする
ガス元栓の開き不十分	・	・	●	・	・	・	・	ガス元栓を全開にする
配管内に空気が残っている	・	・			・	・		点火操作を繰り返す
給水元栓の開き不十分	●	・		・	・			給湯栓をいったん閉めてから給水元栓を全開にする
水ストレーナの詰まり	・	・		・	・			詰まり除去または点検を依頼する
断水している	●				●			使用をいったん中止する
凍結している	●				●			解凍するまで使用を中止する
給湯栓の開き不足	・	・		・				給湯栓を全開にする

4　エラーコード表示について

この機器には、不具合が生じたときにその原因をエラーコードで知らせる機能があります。
下表のエラーコードの表示に応じた処置を行なってください。

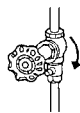
表示	原因	処置方法
001	給湯を連続90分以上運転したためです。	給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
002	ふろの沸き上げを連続90分以上運転したためです。	追いだきスイッチ(または自動スイッチ)を押しなおしてください。
	残湯で停電したためです。	お湯を抜いてから自動スイッチを押してください。
432	浴そうからお湯があふれているためです。	自動スイッチを「切」にして水位設定を低くして再度「入」にしてください。
032	浴そうの栓をしていないためです。	自動スイッチを「切」にして浴そうの水を抜き、「栓」をしっかり閉めて再度「入」にしてください。
412	自動お湯はり中に断水したためです。	再通水後、自動スイッチを「切」にして、再度「入」にしてください。
111	給湯側の点火エラーが生じたためです。	ガス元栓が全開であることを確認後、給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
721	給湯側の回路に異常がおきたためです。	
113	ふろ側及び暖房側の点火エラーが生じたためです。	ガス元栓が全開であることを確認後、追いだきスイッチ(または自動スイッチ)を押しなおしてください。
723	ふろ側及び暖房側の回路に異常がおきたためです。	
543	暖房用タンクに水が入っていない状態で、暖房・お湯はり・追いだき運転をしたためです。	すべての水抜き栓が「閉」、補給水バルブが「開」(☞9ページ)になっていることを確認後、電源を一旦「切」にし、しばらく(約30秒後)してから再度「入」にしてください。

上記以外の表示がでる場合は、ランプが点灯しているスイッチをいったん「切」にして再操作してください。

再操作しても同じ表示が出る場合は、ブレーカを切らないで、お買い上げの販売店へ連絡。

●安全装置が作動したときの処置方法

●点火しなかったり、ご使用中にバーナが消火したときは、25〜27ページの「故障かな？と思ったら」に従ってください。
また、次の安全装置が働いた場合には、メーンリモコン、風呂リモコンの操作スイッチを「切」にし、ガス元栓・給水元栓を閉めてから、お買い上げの販売店またはお近くの東京ガスにご連絡ください。

1 給水元栓を閉める。

2 ガス元栓を閉める。

3 お買い上げの販売店または東京ガスへ

●下記の異常時には、安全装置が働きます

- ●給湯バーナの炎が消えた場合……………………………………給湯立消え安全装置
- ●暖房(ふろ)バーナの炎が消えた場合……………………………暖房立消え安全装置
- ●暖房回路の水が万一極端に減った場合…………………………空だき防止装置(暖房)
- ●空だきした場合…………………………………………………空だき安全装置(給湯・暖房)
- ●機器の温度が異常に上昇した場合……………………………………………過熱防止装置
- ●電気回路に漏電が生じた場合……………………………………………………漏電安全装置
- ●過電流が流れた場合…………………………………………………………………電流ヒューズ
- ●機器内の水圧が異常に上昇した場合………………………………………過圧防止装置

機種名		ガス給湯暖房機			
型式名		AT-361RFA-AL	AT-361RFA-AWL	AT-361FFA-AL	AT-361FFA-AWL
品番		AT-361RFA-AL	AT-361RFA-AWL	AT-361FFA-AL	AT-361FFA-AWL
種類	給湯方式	先止め式			
	暖房方式	温水循環方式			
	給排気方式	強制排気方式		強制給排気方式	
設置方式		屋外設置方式		屋内設置方式	
着火方式	給湯・暖房	ダイレクト着火			
外形寸法 (mm)	本体	高さ750×幅450×奥行255	高さ750×幅480×奥行300		
	メーンリモコン	高さ198×幅 96×奥行 21			
	風呂リモコン	高さ 96×幅198×奥行 20			
質量	本体	46kg	49kg		
	メーンリモコン	0.3kg			
	風呂リモコン	0.3kg			
水圧	使用水圧	100 kPa (1 kgf／cm²) 以上			
	作動水圧	15 kPa (0.15 kgf／cm²)			
最低作動水量	給湯	2.0ℓ／分			
	暖房	0ℓ／分以上(締切り使用可)			
	ふろ	3.0ℓ／分			
ポンプ機外揚程	ふろ	41.2 kPa〔4.2 mH₂O (5.0 L／minのとき)〕			
	暖房	58.8 kPa〔6.0 mH₂O (6.5 L／minのとき)〕			
温度制御方式	給湯	電子式ガス比例制御方式			
	暖房	電子式ガス比例制御およびＯＦＦ制御方式			
温度調節	メーンリモコン 温調	約38℃〜約47℃(1℃間隔)・約60℃			
	風呂リモコン ふろ	約35℃〜約50℃(1℃間隔)			
	風呂リモコン 給湯・シャワー	約38℃〜約47℃(1℃間隔)・約60℃			
	暖房	約80℃	約80℃,約60℃	約80℃	約80℃,約60℃
給湯量制御方式		水量比例制御方式			
排気ファン制御方式	給湯	負荷による比例制御			
	暖房	負荷による比例制御			
	同時	負荷による比例制御			
安全装置		給湯立消え安全装置・暖房立消え安全装置・空だき防止装置・空だき安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧防止安全装置・停電時安全装置・ファン回転検知装置・凍結予防ヒータ・水量センサー・誘導雷保護装置・漏電安全装置			
消費電力		最大255W	最大290W	最大255W	最大290W
		凍結予防運転作動時：最大300W			
接続	ガス	R¾オネジ(20A)			
	給水・給湯	20Aソルダー継手付属(G¾)			
	暖房	G¾オネジ(20A)			
	ふろ	R½オネジ(15A)			
	オーバフロー	10Aソルダー継手付属(R½)			
	電気	本体電源　AC100V　50Hz　3心(うち1心アース用)			
		風呂リモコン2心、メーンリモコン2心			
	給排気接続口	————		給気口φ100・排気口φ100	
付属品		風呂リモコン(一式)			
BL品番		AT-361RFA-AL	AT-361RFA-AWL	AT-361FFA-AL	AT-361FFA-AWL

〔型式名〕AT-361RFA-AL, AT-361RFA-AWL, AT-361FFA-AL, AT-361FFA-AWL

使用ガス		1時間当たりのガス消費量 kW (kcal／h)				標準出力 kW (kcal／h)		
使用ガスグループ		全ガス消費量	給湯ガス消費量		暖房ガス消費量	能力最大時		
			最大	最小		給湯	追いだき	暖房
都市ガス用	13A	69.5 (59 800)	52.3 (45 000)	5.47 (4 700)	17.4 (15 000)	41.9 (36 000)〔24号〕	8.72 (7 500)	14.0 (12 000)
	12A	64.7 (55 600)	48.7 (41 850)	5.12 (4 400)	16.3 (14 000)	38.8 (33 400)〔22.3号〕	8.72 (7 500)	12.9 (11 100)

		都市ガス用13A	都市ガス用12A
出湯能力 L／min (能力最大) 〔水圧:100 kPa (1 kgf／cm²)時〕	水温＋25 ℃上昇	〔24.0〕	〔22.3〕
	水温＋40 ℃上昇	15.0	13.9

●出湯能力の〔　〕内は、水温＋25 ℃上昇に換算した相当出湯能力（号数）です。

機種名		ガス給湯暖房機			
型式名		AT-241RFA-AL	AT-241RFA-AWL	AT-241FFA-AL	AT-241FFA-AWL
品番		AT-241RFA-AL	AT-241RFA-AWL	AT-241FFA-AL	AT-241FFA-AWL
種類	給湯方式	先止め式			
	暖房方式	温水循環方式			
	給排気方式	強制排気方式		強制給排気方式	
設置方式		屋外設置方式		屋内設置方式	
着火方式	給湯・暖房	ダイレクト着火			
外形寸法 (mm)	本体	高さ750×幅450×奥行255	高さ750×幅480×奥行300		
	メーンリモコン	高さ198×幅 96×奥行 21			
	風呂リモコン	高さ 95×幅198×奥行 20			
質量	本体	42kg	45kg	45kg	46kg
	メーンリモコン	0.3kg			
	風呂リモコン	0.3kg			
水圧	使用水圧	100 kPa (1 kgf／cm²) 以上			
	作動水圧	15 kPa (0.15 kgf／cm²)			
最低作動水量	給湯	2.0ℓ／分			
	暖房	0ℓ／分以上(締切り使用可)			
	ふろ	4.0ℓ／分			
ポンプ機外揚程	ふろ	41.2 kPa〔4.2 mH₂O (5.0 L／minのとき)〕			
	暖房	49.0 kPa〔5.0 mH₂O (6.5 L／minのとき)〕			
温度制御方式	給湯	電子式ガス比例制御方式			
	暖房	電子式ガス比例制御およびＯＦＦ制御方式			
温度調節	メーンリモコン 温調	約38℃〜約47℃(1℃間隔)・約60℃			
	風呂リモコン ふろ	約35℃〜約50℃(1℃間隔)			
	風呂リモコン 給湯・シャワー	約38℃〜約47℃(1℃間隔)・約60℃			
	暖房	約80℃	約80℃,約60℃	約80℃	約80℃,約60℃
給湯量制御方式		水量比例制御方式			
排気ファン制御方式	給湯	負荷による比例制御			
	暖房	負荷による比例制御			
	同時	負荷による比例制御			
安全装置		給湯立消え安全装置・暖房立消え安全装置・空だき防止装置・空だき安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧防止安全装置・停電時安全装置・ファン回転検知装置・凍結予防ヒータ・水量センサー・誘導雷保護装置・漏電安全装置			
消費電力		最大230W	最大265W	最大230W	最大265W
		凍結予防運転作動時：最大300W			
接続	ガス	R¾オネジ(20A)			
	給水・給湯	15Aソルダー継手付属(G½)			
	暖房	G¾オネジ(20A)			
	ふろ	R½オネジ(15A)			
	オーバフロー	10Aソルダー継手付属(R½)			
	電気	本体電源　AC100V　50Hz　3心(うち1心アース用)			
		風呂リモコン2心、メーンリモコン2心			
	給排気接続口	————		給気口φ80・排気口φ80	
付属品		風呂リモコン(一式)			
BL品番		AT-241RFA-AL	AT-241RFA-AWL	AT-241FFA-AL	AT-241FFA-AWL

仕　様

〔型式名〕AT-241RFA-AL, AT-241RFA-AWL, AT-241FFA-AL, AT-241FFA-AWL

使用ガス		1時間当たりのガス消費量 kW（kcal／h）				標準出力 kW（kcal／h）		
使用ガスグループ		全ガス消費量	給湯ガス消費量		暖房ガス消費量	能力最大時		
			最大	最小		給湯	追いだき	暖房
都市ガス用	13A	48.8 (42 000)	35.0 (30 100)	5.47 (4 700)	17.4 (15 000)	27.9 (24 000) 〔16号〕	8.72 (7 500)	14.0 (12 000)
都市ガス用	12A	45.3 (39 000)	32.6 (28 000)	5.12 (4 400)	16.3 (14 000)	25.9 (22 300) 〔14.8号〕	8.72 (7 500)	12.9 (11 100)

		都市ガス用13A	都市ガス用12A
出湯能力 L／min（能力最大）〔水圧:100 kPa (1 kgf/㎠)時〕	水温＋25 ℃上昇	〔16.0〕	〔14.8〕
	水温＋40 ℃上昇	10.0	9.3

●出湯能力の〔 〕内は、水温＋25 ℃上昇に換算した相当出湯能力（号数）です。

● 長期間使用しない場合

●必ずガス元栓・給水元栓を閉め、各リモコンおよび、放熱器のすべてのスイッチを「切」にし分電盤のブレーカを「切」にして、凍結予防の処置を行なってください。

保管とアフターサービス

● サービスのお申し込み

• 25〜28ページの「故障かな？と思ったら」の項を見てもう一度確認ください。
• 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店または、東京ガスにご連絡ください。なおご連絡いただくときは次のことをお知らせください。

(1)品　名………ガス給湯暖房機　AT-361RFA-○○○, AT-241RFA-○○○
(2)品　番………正面右下部に貼付してあります。
(3)現　象………不具合内容およびエラーコードの数字
(4)道　順………（できだけ詳しく）

● 転居される場合

• ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはお近くの東京ガスにご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
●転居・移設の際は、近隣の家に迷惑にならない場所に設置してください。騒音が気になったり、温風で植木が枯れたりします。

保　証　書

型式名	AT-361RFA-AL / AT-361RFA-AWL / AT-361FFA-AL / AT-361FFA-AWL / AT-241RFA-AL / AT-241RFA-AWL / AT-241FFA-AL / AT-241FFA-AWL
品　名	AT-361RFA-AL / AT-361RFA-AWL / AT-361FFA-AL / AT-361FFA-AWL / AT-241RFA-AL / AT-241RFA-AWL / AT-241FFA-AL / AT-241FFA-AWL

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は東京ガス供給区域内において都市ガス用としてご使用になる場合、本証書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

(1) 保証期間は、お買い上げの日から2年間とし機器本体を対象とします。
　附属品は対象外です。
(2) 万一故障の場合はお買い上げの店、もしくはもよりの東京ガスへお申し出ください。
(3) サービスをお受けになる時に本証書をお示しください。
(4) 保証期間中であってもつぎの場合には有料修理をいたします。
　(イ) 取扱説明書によらないでご使用による故障した場合
　(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
　(ハ) 火災、水害、地震等による故障、その他不可抗力による故障
　(ニ) お買い上げの店、あるいは東京ガスにご連絡なく改造された場合
　(ホ) 機器に表示してある以外のガスでご使用のため改造された場合。ただし、当社都合の場合はのぞきます。
　(ヘ) 本証書を紛失された場合
(5) 無料修理やアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの店または、もよりの東京ガス支社・営業所にお問い合わせください。

保証発行者　東京ガス株式会社　東京都港区海岸1丁目5番20号　電話03(3433)2111

保証責任者　松下電器産業株式会社　ガスシステム事業部　奈良県大和郡山市筒井町800　電話07435 (6) 1121

	年 月 日	修理内容	サービス担当
修理記録			

お買上げ日	年　月　日	
販売店名		扱者印
住　所		
電話番号		

お客様へ
1. この保証書はお買い上げの日、販売店名、扱者印が記入されていることをご確認ください。
2. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては取扱説明書をご覧ください。
4. この保証書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

機器コード	情報番号	通し番号	訂正番号
5407284	13	10	1

取扱説明書（別冊）

「安全上のご注意」

ガス給湯暖房機

ご使用の前に「取扱説明書」及びこの取扱説明書（別冊）をよくお読みの上、正しくお使いください。
そのあと大切に保管し、必要なときお読みください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

※熱源機の形状は異なる場合があります。

⚠危険

■ガス漏れに気付いた時は、ガス栓を閉め、お買い上げの販売店へ連絡する

■ガス漏れ時は、絶対に火をつけたり電気器具のスイッチの「入・切」などはしない

お買い上げの販売店またはガス供給業者に連絡する

そのままにしておくと、引火し、爆発・火災の原因となります。

引火し、爆発・火災の原因となります。

■屋内に設置しない（屋外式の場合）

燃焼排ガスが室内に流入したり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

■給排気筒が外れたり、つまった状態で使用しない（給排気筒使用の場合）

燃焼排ガスが室内に漏れたり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

■必ず銘板に表示のガス・電源を使用する

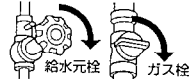
製造年月(例.○年×月製)を示します。

他のガス種・電源を使用すると熱源機が正常に作動しなくなり、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災などの原因となります。

⚠警告

■異常燃焼・臭気・異常音を感じたとき、地震・火災のときは次の手順に従う

リモコンおよび放熱器のスイッチを「切」にする

給水元栓・ガス栓を閉める

お買い上げの販売店またはガス供給業者に連絡する

そのままにしておくと、火災の原因となります。

■給排気口（トップ）をおおわない

火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。

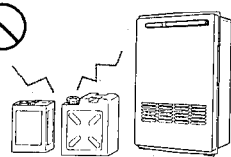
■お出かけやお休みなど長時間使用しないときは、リモコンのスイッチを「切」にする

リモコンのスイッチを「切」にする

旅行など、長期間使用しない場合は凍結予防のため水抜きを行なう

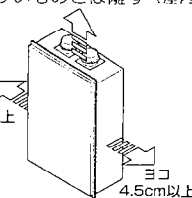
水抜き方法は別添の取扱説明書を参照する。

ガス漏れが生じた場合、火災の原因となります。

■ガソリン・ベンジン・灯油など引火のおそれのあるものを近くで使用しない

火災の原因となります。

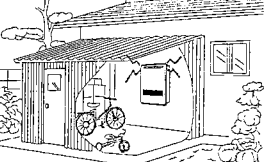
■熱源機の設置、移動の工事はお買い上げの販売店に依頼する

正常に熱源機が設置されないと火災や熱源機故障の原因となります。

■燃えやすいものとは離す（屋内式の場合）

上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。

■高温差し湯中は、アダプター付近に触れない（高温差し湯機能のある場合）

アダプターから熱湯が出るので、やけどの原因となります。

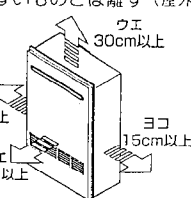
■増改築などにより屋内状態にしない（波板などにより囲いをすることもおやめください。）（屋外式の場合）

正常な給排気ができないため異常燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

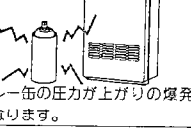
■燃えやすいものとは離す（屋外式の場合）

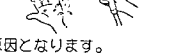
ウエ 30cm以上

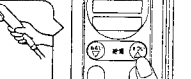
ヨコ 15cm以上

ヨコ 15cm以上

マエ 60cm以上

上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。

■スプレー缶を排気口（トップ）の前方に置かない、前方で使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がりの爆発・火災の原因となります。

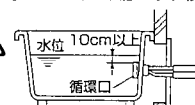
■入浴時、シャワー使用時はまず手で湯温を確認する

やけどの原因となります。

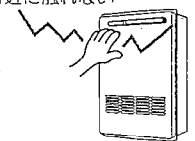
■給湯・シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない

高温に設定されると熱湯によるやけどの原因となります。

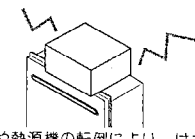
※混合水栓はレバーを上げた状態が給湯栓「開」の場合で説明してあります。

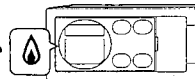
機器コード	物番号	報告番号	通し番号	訂正番号
5407284	1 3	1	1	1

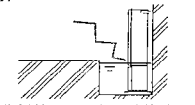
⚠注意

■追いだきするときは水位が循環口より10 cm以上、上にあることを確認する（追いだき機能のある場合）

空だきによる火災や、熱源機故障の原因となります。

■使用中や消火直後は、排気口（トップ）付近に触れない

やけどの原因となります。

■熱源機の上に乗ったり、物を乗せたりしない

やけどや熱源機の転倒により、けが・熱源機故障の原因となります。

■点火時、消火時、使用中はリモコンの燃焼表示（ランプ）の点灯・消灯を確認する

確認を怠ると、熱源機の異常を早期に発見できなくなります。

■排水の不良などで熱源機が冠水するような状態では使用しない（屋外式の据置形の場合）

火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。販売店にご相談ください。

■パネルヒーターの表面は触らない（パネルヒーター使用の場合）

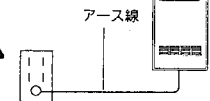
やけどの原因となります。

■点検・お手入れはリモコンのスイッチを「切」にし、給水元栓とガス栓を閉め電源プラグを抜いて（またはブレーカを「切」にして）熱源機が冷えてから行なう

やけどや感電の原因となります。

■車両・船舶への設置はしない

振動により熱源機が転倒し、火災や熱源機故障の原因となります。

■アース接続されていることを確認する

漏電が生じた場合、感電の原因となります。アース接続されていない場合は、販売店に依頼してください。

■屋外に設置しない（屋内式の場合）

炎が風にあおられて火災の原因となったり、雨水などが入り熱源機故障の原因となります。

■給湯・お湯はり・給湯暖房用として使用する

他の用途に使用すると、火災や熱源機故障の原因となります。

■お客様ご自身で修理・分解をしない（フロントカバーを外さない。）

不備が生じた場合、火災や感電・熱源機故障の原因となります。

■電源プラグの抜き差しは、プラグをもって確実に行なう（電源プラグがある場合）

コードを持って引き抜いたりするとコードが切れ、感電や火災の原因となります。

■床暖房の上に電気カーペットを敷かない

床材の割れ、そり、隙間の原因となります。

■カーペット式床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したりしない

温水パイプが破損し、温水が噴き出しやけどの原因となります。

■床暖房の上で高い温度に設定したまま長時間すわったり、寝そべったりしない

低温やけどの原因となります。

■電源プラグまたはブレーカはぬれた手で触らない

感電の原因となります。

KGX0026XHNA1